

新オレンジプランによ  
り、認知症高齢者を地域  
（ホーム）といいます。

で見守っていいこうとい  
う 5〜9人の認知症の方  
を1単位として共同生活

す。そのよ  
うな状況で

認知症の方々が  
住み慣れた地域  
での暮らしを継

県立看護大学 老年看護学 助手

大倉 由貴

してグループ  
ホームを位置

ち、主体的に生活を送る  
ことが出来る場所が必要  
とされています。

## 知っていますか？ グループホーム

認知症対応型グループ

続てできる場の一つとして  
する場となっており、そ  
ることは自分でしたい  
づけている地域も増えて

注目されているのが、認  
こでの暮らしは、認知症  
し、社会の中で役割を持  
おり、お祭りなどの地域

知症対応型のグループホ  
の方が主体的に買い物に  
って、誰かとつながって  
行事に参加する中で、入

ームです。介護保険制度  
行ったり、掃除をしたり、  
いたい、そして「かな  
居後も人や社会とのつな

の地域密着型入所サービ  
料理をしたり、園芸をし  
うことなら、最期のとき  
がりを大切にしていま

スの一つで、正式な名称  
たりと日常生活や共同作  
まで、自分の家、住み慣  
す。またご本人や家族の  
か。

は、認知症対応型共同生  
業を行いながら、家庭的  
れた地域、なじみの人た  
希望に応じて、看取りが

な雰囲気の中で暮らして  
ちの中で過ごしたい」と  
できる施設もあります。

いくことを大切にしてい  
思っているのではないで  
認知症の方は、忘れて

ます。そこには介護をす  
しょうか。認知症の方々  
いくことへの不安、自分

る職員がおり、入居者の  
も、この思いは同じです。  
が自分でなくなっていく

要介護状況にに応じて、生  
グループホームではそ  
ような寂しさをいつも抱

活のサポートをしてくれ  
のような認知症の方の希  
望に沿える環境を整えて

ます。  
多くの方々は、「でき  
います。町内会の一員と

多  
が、なじみの人間関係や  
社会とのつながりを保

してグループ  
ホームを位置  
ち、主体的に生活を送る

ことが出来る場所が必要  
とされています。

認知症対応型グループ

ホームは、住み慣れた地  
域の中で、それぞれが役

割を持ちながら、その人  
らしく過ごせる場所の一

つな  
つな  
つな

つな  
つな  
つな